



稚内建設管理部の概要



その先の、道へ。北海道

Hokkaido. Expanding Horizons.

《概要》

稚内建設管理部管内は、豊富な資源に恵まれた水産業や、広大な土地を背景とした酪農が盛んであり、「利尻礼文サロベツ国立公園」や「ラムサール条約登録湿地」などを有する雄大な自然に恵まれた地域であります。

稚内建設管理部では、地域の安全・安心や暮らしを守り、地域の特性を活かした産業を支えるための交通・物流ネットワークの充実、ハード・ソフト一体となった流域治水対策や土砂災害防止対策などを積極的に進めるとともに、インフラの適切な維持管理のため老朽化の進む施設の計画的な修繕等を推進しています。

道路事業では、道路の防災機能の向上や通行空間の安全性・快適性の確保を目的に稚内天塩線の無電柱化を推進するとともに、国道40号及び238号など主要幹線道路へのアクセス強化及び、通年の安全確実な交通確保を図る事業を実施しています。

また、落石・地すべり対策を目的に美深中頓別線の整備や、通学路の安全確保を目的に礼文島線の整備を進めているほか、橋梁の老朽化対策の取組として稚内内豊富停車場線の開運橋の架替を進めています。

河川事業では、洪水被害の防止・軽減を図るため、稚内市街地を流れるクサンル川の改修工事や、浜頓別町や中頓別町を流れる頓別川では河道断面を拡幅する掘削や橋の架け替えを進めています。

砂防事業では、利尻島の持久無名川やタネトンナイ川などにおいて、土石流による土砂災害の防止・軽減を図るため、砂防堰堤などを整備しています。

漁港事業では、オホーツク枝幸漁港や浜鬼志別漁港などにおいて、航路及び港内の静穏度を高め漁業活動の安全の確保を図る防波堤及び護岸の整備や、漁獲物への異物混入を防ぐ衛生管理施設の整備を進めています。

都市公園事業では、公園利用者の安全確保と施設の老朽化に対応するため、宗谷ふれあい公園において施設の再整備及び修繕を進めています。

このほか、急傾斜地の斜面对策や、利尻空港、大岬海岸などで施設整備を進めています。